

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	藤野芸術の家
指定管理者	一般社団法人かながわ青少年協会
指定期間	H23.4.1 ～ H28.3.31
施設所管課	青少年課 ( )

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

**B**

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。  
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。  
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。  
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。  
（Dが2つ以上の場合）

<1 管理運営等の状況> 提案に基づいた体験・学習事業等を実施し、芸術体験施設であることを生かした工房体験をはじめ、地域や学校との連携を深める事業など、概ね計画通りの実績となっている。また、施設の維持管理においては、良好な維持管理に努めるとともに、積極的な節減に取り組んでいる。これらを踏まえB評価とした。

<2 収支状況> 収入は、宿泊利用と工房利用の増加により対前年度上半期実績比で3.2%プラスとなった。支出は、光熱水費の節減や必要最小限の修繕対応などに努め、支出計画額よりも19%マイナスとなった。収支差額は、左記の理由により対収支計画比25.7%プラスとなったためA評価となった。

<3 利用状況> ホームページや県のたより、観光案内所等の広報活動に積極的に取り組んだが、利用者数が前年同期対比増減率で1.6%のマイナスとなったためB評価とした。なお、利用者の確保に向けて、更なる積極的な広報活動に努めるよう指導した。

<4 利用者の満足度> 毎年9月に実施する7・8月利用者へのアンケート結果において上位2段階の回答割合が72%であったためB評価となった。ただし、回収率が38.7%と低かったため、回収率を向上させつための具体的な取り組みを検討するよう指導した。

<5 苦情・要望等> 随時、利用者アンケート等により利用者の意見を把握して改善できるようサービス向上に努めており、指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応していることからB評価となった。

<6 事故・不祥事等> 事故や不祥事等の発生はなかったため、B評価となった。

<今後の方針等> 利用者の安全を確保しながら適正な維持管理運営に更に努めるとともに、季節限定の体験事業や子どもから大人まで楽しめるコンサートなど、芸術体験施設としての魅力を最大限生かしたイベントを企画・実施し、日帰り利用や宿泊利用の更なる拡大に努めてもらいたい。

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載  体験事業（陶芸体験、木工体験、自由工房でのガラス工芸体験等、音楽体験、自然体験）《常設及び季節による期間限定プログラム》 初心者をはじめあらゆる人々が、気軽に陶芸・木工・ガラス工芸・音楽等の芸術体験や自然体験に親しむことができる常設の事業を実施	実績又は今後の見込みを記載  ・常設及び季節による期間限定プログラム体験者数 ・木の工房利用 7,269名 ・土の工房利用 5,013名 ・自由工房利用 18,721名 合計 31,003名 ・デーキャンプ 5,280名 ・子どものためのコンサート 8/3 83名

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載  学習事業（地域作家教室、美術基礎講座、音楽基礎講座、音楽芸術講座、アートテクニカルスクール） 各分野の専門家を講師に迎え、工芸・音楽等の教室を開催し、技術の修得や知識の向上を図ることができる事業を実施	実績又は今後の見込みを記載  ・地域作家教室「万華鏡作り」7/10・11 38名 ・音楽基礎講座 7/28、8/11 50名
3 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載  創造事業（優れた芸術の鑑賞など） 専門的な芸術活動、創作活動のための講習会や優れた芸術家の作品を鑑賞できる事業を実施	実績又は今後の見込みを記載  ・パリからモディリアーニ管弦四重奏団がやってくる 9/15 257名
4 (指定管理業務)	提案内容の要旨を記載  活動支援事業（地域との連携事業、学校等連携事業） 青少年をはじめ、あらゆる人々が、人とのふれあいを通して、芸術や自然に親しむ機会をつくり、様々な体験活動を支援する事業を実施	実績又は今後の見込みを記載  ・地域芸術家の小品販売購入者数 121名 ・地域・学校等連携事業 ・藤野ぐるっと陶器市インフォメーション設置 5/18～5/19 526名 ・藤野駅観光案内所「ふじのね」ミニギャラリー展 7/1～7/31 ・相模原市緑区との連携「橋本七夕まつり緑区キャラクターミウルの絵付け体験出展」8/9～8/11 46名 ・公益財団法人相模原市勤労者福祉サービスセンター「あじさいメイツフェスティバル万華鏡作り出展」8/25 160名 ・竹の子掘りとGW特別工作 4/29 64名 ・校外学習等団体受入 3,225名
5 リストから選択	提案内容の要旨を記載	実績又は今後の見込みを記載

## (2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日	5月23日	○	—	○	有	テレビ東京で放送された内容確認と集客状況を確認し、更なる広報活動に努めるよう指導した。
5月	6月10日	6月13日	○	—	○	有	非常用電源不具合の内容と対応状況を確認したが、管理委託業者と連携した復旧対応に努め、利用者への影響は無かった。
6月	7月10日	7月23日	○	—	○	有	火災報知器の誤作動の内容と対応状況を確認。障がいのある子どもが誤って報知器のボタンを押したことが原因であり、利用者への早急な館内放送により、特に不安を与えた状況は無かった。
7月	8月12日	8月23日	○	—	○	有	保健所立入検査の結果を確認し、保健所からの指導は特に無く、良好な運営ができていた。
8月	9月10日	8月13日	○	—	○	有	利用者の多い8月のアンケート調査結果と対応状況については、適切に対応していることを確認した。
9月	10月10日	10月23日	○	—	○	有	台風18号の影響確認。防災行動訓練(シェイクアウト)の実施状況を確認し、訓練は適切に実施されたことを確認した。

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の10日まで

## 2 収支状況

評価 **A**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計	うち納付金		
募集時の県積算額 (参考)		119,655	40,700	20,069	180,424	180,424		0
年度計画	前年度	59,254	20,350	10,034	89,638	90,417	0	▲ 779
	上半期	59,254	20,350	10,034	89,638	90,417		▲ 779
	下半期				0			0
	今年度	59,545	20,350	10,257	90,152	90,724	0	▲ 572
	上半期	59,545	20,350	10,257	90,152	90,724		▲ 572
	下半期				0			0
上半期実績	4月	8,753	2,863	1,296	12,912	4,048		8,864
	5月	8,747	2,177	1,646	12,570	9,938		2,632
	6月	15,807	3,178	1,109	20,094	19,313		781
	7月	8,746	6,780	2,557	18,083	12,349		5,734
	8月	8,746	5,879	4,998	19,623	13,761		5,862
	9月	8,746	3,361	1,357	13,464	14,054		▲ 590
	上半期合計	59,545	24,238	12,963	96,746	73,463	0	23,283
	対収支計画比	0.0%	19.1%	26.4%	① 7.3%	② ▲ 19.0%		③ 25.7%
参考	前年度 上半期実績合計	59,254	23,484	11,003	93,741	70,764		22,977
	対前年度 上半期実績比				3.2%	3.8%		

※その他収入の内容 利用者負担金、協賛金、雑収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

### 収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	○	きめ細かな光熱水費の節減努力や必要最小限の修繕対応などに努めたことにより、支出額を抑えているため。
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等

基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：県有財産の維持管理上必要な工事等で50万円以上(県有財産の維持管理上必要な工事等以外は100万円以上)

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	2,930	・転石防止柵設置工事(2,457千円) ・空調制御機器交換工事(473千円)
下半期		
合計	2,930	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

### 3 利用状況

評価 **B**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、  
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で)

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～95%未満
- D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比で)

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	6,765 人	5,459 人	123.9 %
5月	8,099 人	8,020 人	101.0 %
6月	5,711 人	6,002 人	95.2 %
7月	12,557 人	15,223 人	82.5 %
8月	22,326 人	22,336 人	100.0 %
9月	8,911 人	8,363 人	106.6 %
合計	64,369 人	65,403 人	98.4 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	64,369 人	65,403 人	人	① %	② 98.5 %
下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
合計	64,369 人	65,403 人	0 人	%	▲ 1.6 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している	その他の場合の期間	通年
基準	—	その他の場合の基準	年間目標10万人、振り分け不可

#### 利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)		
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	該当なし

<参考>

#### 施設の最大利用可能人数

	宿泊室	クリエーションホール	音楽スタジオA	音楽スタジオB	音楽スタジオC	会議室A・B	合計
定員(1日あたりの延べ人数)	100	300	60	15	15	50	540
年間利用可能日数	273	315	315	315	315	315	
最大人数	27,300	94,500	18,900	4,725	4,725	15,750	165,900
半期	13,650	47,250	9,450	2,363	2,363	7,875	82,950

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

#### 4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **B**

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

- A：80%以上
- B：60%以上～80%未満
- C：40%以上～60%未満
- D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上
- ：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	50	99	54	6	0	209	149 ( 72.0% )

※今年度の実施予定 上半期 1 回 下半期          回 その他 随時、施設利用者へアンケート依頼

※配布・回収件数 配布 106 件 回収 41 件 回収率 38.7% %

※実施方法 利用者等に配布 受付等に配架 リストから選択 リストから選択

#### 5 苦情・要望等

評価 **B**

(評価の目安)

- A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。
- B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。
- C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。
- D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

##### 報告件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	0	0	0	0	32	32
下段：報告件数のうち所管課受付分	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )

##### 苦情・要望等への対応

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 6 事故・不祥事等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
( )		
( )		
( )		